

経営比較分析表（令和6年度決算）

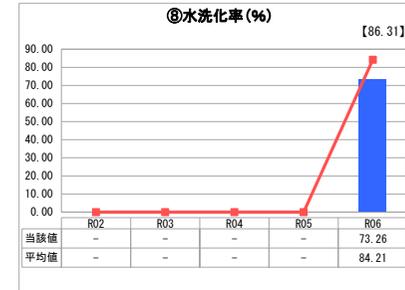
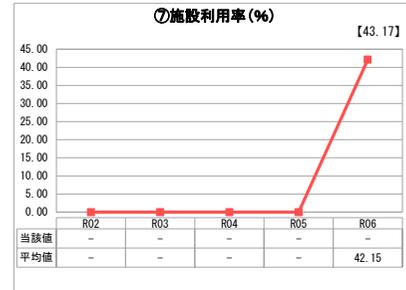
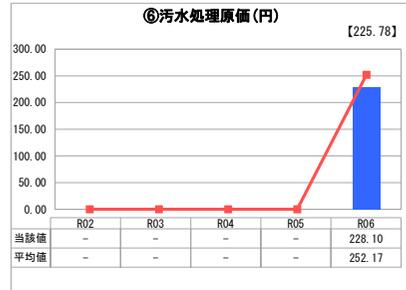
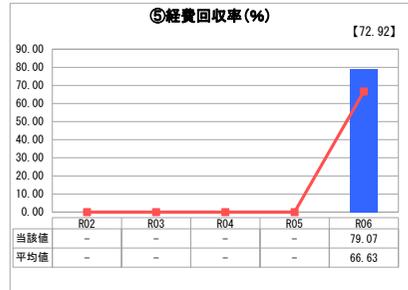
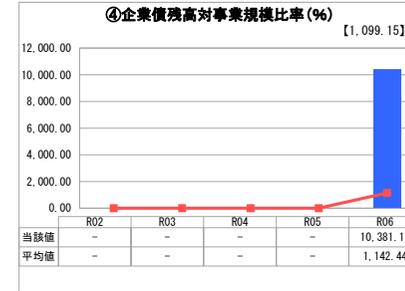
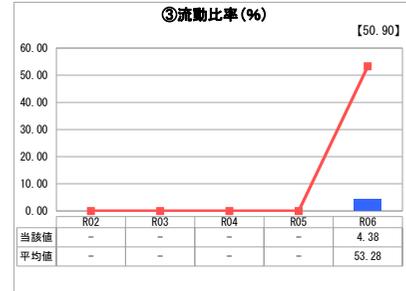
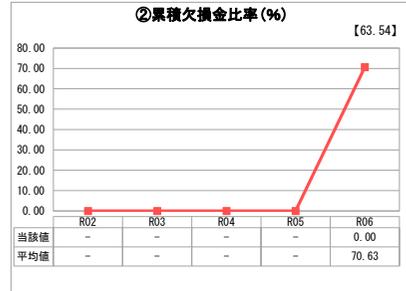
山形県 川西町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	53.07	4.00	70.29	3,850

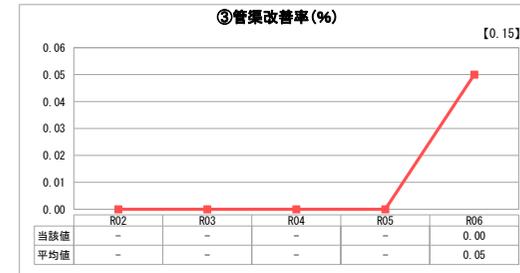
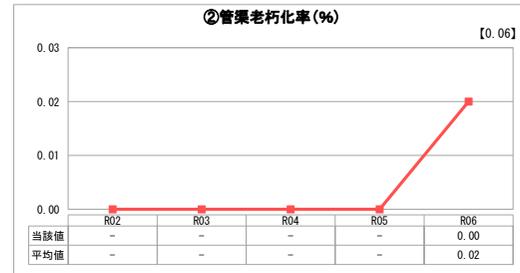
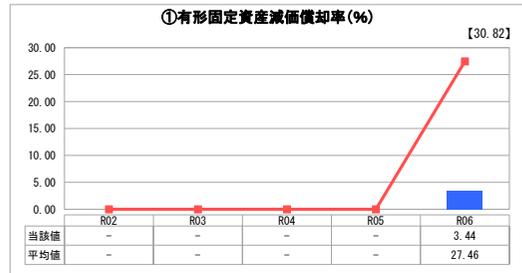
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,385	166.60	80.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
531	0.57	931.58

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については、100%を上回っている状況である。これは、一般会計からの繰入金等の影響が大きい傾向にある。
 ② 流動比率については、企業債償還金は減少傾向にあるものの、経営状況が厳しいことから、類似団体と比較し、大幅に下回る状況となっている。
 ③ 企業債残高対事業規模比率については、施設整備時の企業債残高が多く、使用料は年々減少傾向にあるため、類似団体と比較し、大幅に上回る状況となっている。
 ④ 経費回収率については、類似団体と比較し上回っており、⑥ 汚水処理原価については、類似団体と比較し、下回っている状況である。類似団体と比較し、良好な数値ではあるものの、有収率が70.29%であることから、不明水の処理費用が多であると考えている。
 ⑤ 水洗化率については、類似団体と比較し、下回っている状況である。水洗化率の向上へ向け、補助金の創設等を検討する必要があると考えている。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産原価償却率、② 管渠老朽化率及び③ 管渠改善率については、いずれも低位であるものの、有収率については、70.29%となっている。管渠の状況調査は例年実施しているものの、有収率については、年々減少傾向にある。施設の老朽化対策を図るとともに、さらなる有収率の向上の取組が必要であると考えている。

全体総括

本町の下水道事業は、急速な人口減少により、使用料収入は年々減少し、今後も減少する見込みとなっている。また、物価高騰や有収率が減少傾向にあることから、営業費用の増加も見込まれるため、経営は非常に厳しい見込みとなっている。
 今後は、的確な経営分析のもと、施設の老朽化対策を行いながら、有収率向上等に取り組み営業費用を削減し、使用料の見直しを含め、持続可能な経営に努めていく必要がある。
 また、農業集落排水事業との統合を検討し、下水道事業全体で経営を行い、施設の維持管理や計画的な施設の更新及び財源の確保に努める必要があると考えている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。